

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>(1) 各領域で個人差が大きい。漢字の習熟、句読点や段落の使い方など定着が不十分な児童も多い。</p> <p>(2) 自分の考えをもち、まとめたり他者に伝えたりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>(3) 読書量や内容に個人差が感じられる。</p>	<p>(1) 文章を丁寧に読み、適切な表現の仕方を繰り返し指導する。漢字は、小テストを定期的に行い、定着を図る。</p> <p>(2) 実態に合わせて、考えをまとめたり、話したい内容を精選したりするためのワークシートを使用する。</p> <p>(3) 朝読書の時間をしっかり確保し、様々な分野の本に興味をもてるよう、本の紹介や読み聞かせを行う。</p>	
社会	<p>(1) 学校の周りの様子について地図記号を用いてまとめたり、練馬区の様子について調べたことを白地図にまとめたりすることは全体的によくできていた。</p> <p>(2) 調べたことをもとに、学校の周りや、練馬区の様子について、その特徴を言葉で説明したり、伝える文章を書いたりする力は個人差が多く見られた。</p> <p>(3) 学校の周りや練馬区の様子について、意欲をもって主体的に調べたり、まとめたりしようとする児童が多かった。</p>	<p>(1) 資料の読み取り方や取材の仕方などについて指導し、さまざまな調べ方の技能を身に付けるとともに、社会科で使う用語についてその意味を正しく理解できるようにする。</p> <p>(2) さまざまな社会的事象の見方・考え方を働かせて思考できるように、対話的な活動を取り入れて、思考を深めていく。</p> <p>(3) 追究意欲を高める導入や学習問題づくり・学習計画づくりを丁寧にを行い、児童がより主体的に問題解決をしようとする意欲を高める。</p>	
算数	<p>(1) 全体的に簡単な計算問題や九九は定着してきているが「時こくと時間」「長さ」の単元では苦手意識がある児童が多く見られた。</p> <p>(2) 題意を捉え立式したり図で表して説明したりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>(3) 全体的に意欲的な児童が多く、集団で考える学習には意欲的であるが、練習問題に苦手意識がある児童も少なくない。</p>	<p>(1) 日常生活で、時刻と時間の関係を想起させたり、長さの感覚を捉えさせたりする経験を増やしていく。</p> <p>(2) 立式だけの指導で終わらせてしまうことのないように、図を用いて式の意味を考察する過程を大切に、根拠をもって立式できるよう指導する。</p> <p>(3) 児童の実態を把握し、習熟度別授業によって、レベルに応じた練習問題や発展的な問題を作成する。</p>	
理科	<p>(1) 観察に際して、成長の様子を比べたり、考察したりしてまとめることはおおむねできている。</p> <p>(2) 実験・観察を通して、自然の事物・現象を比べ、同じところや異なるところを見付けることはおおむねできている。</p>	<p>(1) 観察の前に色、形、大きさの3つの観点を再確認する。細かく観察できている児童のよい表現を提示する。</p> <p>(2) 児童の生活場面で見られる現象を教室内で再現したり、注目する点を事前にはっきりさせたりしてから実験す</p>	

	<p>(3) 問題を見付け、予想し、解決方法を考え、検証するという問題解決の流れは、よく理解でき、主体的に学習しようとする児童が増えてきている。</p>	<p>るなど、疑問や気付きがもてるような工夫をし、児童が問題を自分事として捉えられるようにする。</p> <p>(3) 学習を授業内に留めず、日常生活に生かすことができるような具体的場面を問題に設定する。</p>	
音楽	<p>(1) 読譜に個人差がある。リコーダーは左手のみの運指を学んだが、タンギングや音色に気を付けて演奏できるように継続して取り組む必要がある。</p> <p>(2) 曲のよさや特徴に気付き、楽しみながら活動しているが、思いや意図をはっきりもちながら表現することがまだできていない。</p> <p>(3) 実際に音を出せない期間もあったため、想像をはたかせながら活動できる児童とできない児童がいる。</p>	<p>(1) 簡単な曲の楽譜に階名をふることで、少しずつ読譜に慣れるようにする。リコーダーでは、範奏からタンギングや音色のイメージをもたせるとともに運指の徹底を図る。</p> <p>(2) どのように表現するか、思いや意図をもち、そのための方法をいろいろ試し、全体で共有する。</p> <p>(3) いろいろな楽器も工夫して取り入れ、実際の音に触れられるようにする。発言、発表しやすい雰囲気づくりをし、自信をもてるようにする。</p>	
図画工作	<p>(1) はさみはおおむね正しく安全に使えているが、カッターナイフの扱いや、筆や絵具の扱いにはまだ習熟していない。</p> <p>(2) 自分の作品の題名を迷わず付けられるなど、自分の表したいことについて豊かに発想、構想している。</p> <p>(3) 図工の学習はおおむね好きであり、意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>(1) 紙工作や紙版画、ステンドグラスなどの題材を通してはさみやカッターナイフといった道具の扱いに習熟させる。また楽しく取り組みながら筆遣いに習熟できる題材を複数実施し、絵の具や筆に親しむ。</p> <p>(2) 身近な作品などからも見方が広げられるよう、鑑賞の機会や時間を十分確保する。</p> <p>(3) 子供目線での試作を通し、全ての子供が作りだす喜びを味わえるような題材準備を行う。</p>	
体育	<p>(1) 基本的な動きや技能に個人差が見られる。細かい動作が苦手な児童が多い。</p> <p>(2) めあてを立てることはできているが、めあてを達成するための工夫ができていない児童は少ない。</p> <p>(3) 体を動かすことは好きな児童が多い。運動に苦手意識を強くもつ児童も若干数いる。</p>	<p>(1) 運動に必要な動きや技能のポイントを確認し、それぞれにつながる運動を意図的に取り入れていく。</p> <p>(2) 運動のポイントを示し、どのポイントができていて、どのポイントができていないのかをつかむため、教師や友達と見合う活動を取り入れる。</p> <p>(3) スモールステップで課題を設定したり、簡単な運動を導入したりすることで、意欲を高める手だてとする。</p>	

<p>外国語活動</p>	<p>(1) 学校の外で学習している児童と、そうでない児童で差が見られるがおおむね学習内容を定着させることができている。</p> <p>(2) 日本語にはない発音を上手く発音することに苦手意識をもつ児童が多い。今まで学習した表現を使い、積極的にALTとコミュニケーションを図ろうとする児童も多くいる。</p> <p>(3) 全体的に積極的に学習に取り組む児童が多い。外国語活動の学習に自信のない児童は、途中で取り組みを諦めてしまう様子も見受けられる。</p>	<p>(1) 授業の初めに前時の復習を取り入れ、繰り返し学習することで、学習内容の定着を図ることができるようにする。</p> <p>(2) ALTを効果的に活用し、ネイティブの発音でたくさん練習を重ねることで外国語特有の音声を発音することができる活動を取り入れる。</p> <p>(3) 各単元のめあてを提示し、児童が見通しをもって学習することができるよう工夫する。ICTを効果的に活用し、児童が楽しく活動しながら外国語を学習できるような、学習活動を取り入れる。</p>	
--------------	---	---	--